

「政策のための科学」データ・情報基盤整備事業について

平成23年5月16日

科学技術政策研究所

1. データ・情報基盤整備事業の基本的コンセプト

- (1) 科学技術イノベーションに関する政策研究の基盤
 - 政策研究における科学的方法論の強化
 - データの充実による、多様な学問領域からの研究者の参入の促進
- (2) 政策形成プロセスにおけるより客観的な検討のための基盤
 - 政策立案のための客観的根拠（エビデンス）としてのデータ
 - 政策議論の質の向上のためのツール
 - 政策の評価や検証の基礎
- (3) 国民に対する説明責任
 - 行政情報・データの公開推進

2. 事業の概要

- (1) 中核的データベースの構築
 - 客観的エビデンスとなる統計／調査の個票データを収集・格納
 - 名寄せや複数データ間のリンクなどの整備
 - 必要に応じ、新たな調査を実施しデータを整備(例:博士課程修了者の追跡データ)
- (2) 研究者へのデータ提供・サポート
 - 「政策のための科学」参加研究者に対し、可能な範囲でデータを提供
 - 政府統計の二次利用申請など、必要な手続きのサポート
 - 統計データ等の公開が困難なものについては、調査客体名簿や、データを連結するためのコンコーダンス、2次加工情報などを整備提供
- (3) 一般利用者・国民へのデータ提供
 - 一般的な研究者、行政関係者、国民に対し、公開可能な行政資料・データ、既存統計・データの所在情報、各種調査研究レポートなどをwebサイトで公開
- (4) 内外の研究との連携によるデータ整備
 - 「政策のための科学」の研究プロジェクトにより産み出されたデータを、研究終了後に（あるいは研究の過程において）、データ基盤に集約
 - 大学等研究者が行うデータ整備活動との連携

3. 想定する研究課題の体系と対応するデータ基盤

想定する研究課題

主なデータ基盤

I. 政府および公的研究開発システム

- 公的研究開発システム(主に大学)の構造分析
- 政府予算で実施されている研究開発の実態やパフォーマンスの把握・分析・評価(国、セクター、個別機関・研究プロジェクトなどの各レベル)
- 科学技術政策の進捗・成果の把握と可視化(科学技術基本計画のフォローアップ調査など)

- 「科学技術研究調査」(主に大学と公的機関)
- 「e-Rad (府省共通研究開発管理システム)」と競争的研究資金のデータベース
- 科学論文データベース
- 特許データベース(主に大学・公的研究機関)
- 産学連携に関するデータ
- 大学の諸活動のデータ(例:国際交流、社会貢献)

II. 産業におけるイノベーション

- 産業におけるイノベーションの実態およびイノベーション・プロセスについての理解の深化
- 産業イノベーションにおいて政府が果たしている/果たすべき役割の解明
- 産業別のイノベーションの特性の解明
- 技術知識と知財の性質の解明

- 「科学技術研究調査」(主に「会社」のデータ)
- 「民間企業の研究活動に関する調査」
- 「全国イノベーション調査」
- 「企業活動基本調査」
- 特許データベース(各種)
- 「知財活動調査」、「知財活用実態調査」

III. イノベーションの経済成長への寄与

- イノベーションと経済成長との関係の解明(特に、政府研究開発投資の総合的な寄与の推計)
- 日本の市場特性とイノベーションの関係の分析
- 製品の性能・価格など、従来の国民経済計算で考慮されていない要素を反映した実質的経済成長測定
- 成長戦略の基本的指標の提示

- 「全国イノベーション調査」
- 国民経済計算(SNA)および関連調査
- 企業の経済活動に関する諸調査
- 労働力・雇用関連の調査
- 「家計調査」、「家計消費状況調査」
- 物価に関する調査

IV. 科学・技術・イノベーションの社会的波及効果

- 経済価値では測ることが困難なイノベーションの波及効果や社会的価値の測定
- 科学技術と社会の関係についての理解の深化
- 保健衛生・健康、環境などの社会的・人類的課題への科学技術の寄与の把握

- 科学技術関係の世論調査
- 保健衛生、ライフ・イノベーション関係の各種データ
- 環境、グリーン・イノベーション関係のデータ
- 安心・安全に関するデータ(具体的には今後、検討)

V. 科学技術人材および知識社会を担う人材

- 科学技術知識の生産を担う人材の属性別の需給や育成・活用に関する諸問題の把握
- ポスドク問題、博士離れ、若手研究者の処遇、研究者のキャリアパス整備、研究者の流動性、等の問題の検討
- 知識社会を担う人材の育成・活用についての研究

- 「学校基本調査」
- 教育機関の各種データ
- 「ReaD (研究開発支援総合ディレクトリ)」
- 「e-Rad (府省共通研究開発管理システム)」(特に研究者のデータ)
- 博士号取得者の網羅的ディレクトリ(未整備)
- 「労働統計」

4. 当面のスケジュール（概要）

時 期	内 容
2011 年度・上半期	<ul style="list-style-type: none">● 専門家検討グループ（仮称）での検討開始● 総務省統計局との協議開始● データ整備仕様の作成● データ整備の委託先の選定
2011 年度・下半期	<ul style="list-style-type: none">● 委託によるデータ整備開始● データを保有している他省庁・大学等の関係者との協議等の開始● データ提供事業用 web サイトの開設● 研究者へのデータ提供開始（主として政策研が保有するデータ）
2012 年度・上半期	<ul style="list-style-type: none">● 研究者へのデータ提供開始 （科学論文／特許データと関連統計とのリンクデータ等）